



令和4年度 普賢寺小学校学校経営方針

本校は、創立 149 年目を迎える地域に根差した学校である。平成 19 年度より小規模特認校制度を活用し、京田辺市全域から転入学を希望する児童が通学できるようになった。また平成 27 年度には学校運営協議会（なのはな委員会）が設置され、学校と保護者、地域住民等との信頼関係を深め、「地域を誇れる子ども」「自分の学校を誇れる子ども」の育成に取り組んでいるコミュニティースクールである。あわせて校区の一部地域児童は、卒業後に生駒市立の小中一貫校に進学するというのも学校経営を考える上で大切な点である。

第 2 期京都府教育振興プランの中で、今後「目指す人間像」として「めまぐるしく変化していく社会において、変化を前向きにとらえて主体的に行動し、よりよい社会と幸福な人生を創り出せる人」と定められている。また「目指す人間像」に必要な力（はぐくみたい力）として「主体的に学び考える力／多様な人をつながる力／新たな価値を生み出す力」があげられている。

また、令和 3 年度保護者及び児童アンケートや体力テストの結果からは、体力面での課題があると言える。あわせて「やってみよう！」と自分から学ぶ姿勢にも課題があると言える。あわせて、人と豊かにかかわりをもてるために適切な自己表現能力を伸ばす必要があると考える。

以上のことから、令和 4 年度の学校経営について「予測困難な時代」を生きていく児童に、148 年の伝統と校風を受け継ぎ、自分のよさや可能性を認識し、さまざまな人々と協働しながら課題を解決する力を育成し、持続可能な社会の創り手となるべく教育を、保護者や地域の人々とともに進めていくこととする。

◇ 学校教育目標

人と豊かにかかわり 進んで学びあう 普賢寺っ子

◇ めざす児童像

- | | |
|----------------|-----|
| (1) 学びあう子 | (知) |
| (2) 助けあう子 | (徳) |
| (3) きたえあう子 | (体) |
| (4) 地域、学校を誇れる子 | (芯) |

◇ めざす学校像

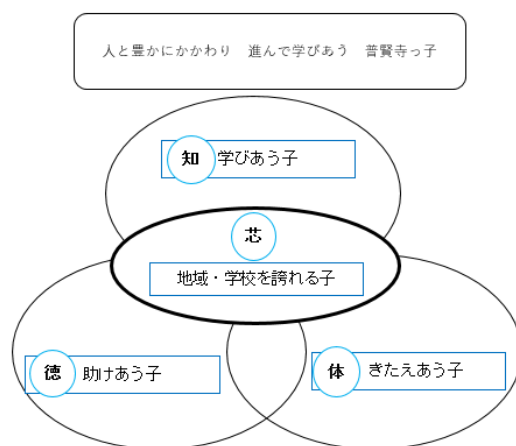
- (1) 少人数だからこそ創れる学校
- (2) 地域とともにある学校
- (3) 誇りに思える学校

◇ めざす教職員像

- (1) 自ら研鑽を積み、誇りをもって子どもを育てる教職員
- (2) 高い人権感覚をもち、子どもを高めるために協働する教職員
- (3) 自ら健康の保持増進に努め、しなやかでたくましい身体と心を保つ教職員
- (4) 地域とともに歩む教職員

◇ 経営方針(中期経営目標)

- 1 「少人数」「特認校」「コミュニティースクール」という学校の特色を生かした「普賢寺小学校ならではの」教育活動（「一人一人を伸ばす」「一人一人ができる」「家庭や地域とともに」）を推進する。
- 2 **個別最適な学びと協働的な学び**を研究・推進し、一人一人の個性や能力を伸長する学習活動を推進する。
- 3 多様な人と**つながり**、自己肯定感を高める教育活動を推進する。
- 4 たくましく健やかな**身体**の育成に向けた教育活動を推進する。
- 5 **学校や地域の活性化**を図る取組を推進する。
- 6 安心・安全で豊かな**教育環境及び職場環境づくり**を推進する。



◇ 重点目標(短期経営目標)

(1) 学びあう子(知)の育成のために

- ①メタ認知の発達を促し、子どもたちの「やってみたい!」「なるほど」を大切に授業づくりを推進する。
- ②「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるためのタブレット端末を活用した授業づくりに取り組む。

(2) 助けあう子(徳)の育成のために

- ①学級担任による教育相談機能の充実を図る。
- ②子どもの自己理解能力を促す取組を推進する。
- ③他者とのかかわりの中で自分らしさを発揮できる学級集団づくりに取り組む。

(3) きたえあう子(体)の育成のために

- ①業間を活用した日常的な取組を推進する。
- ②家庭と連携した体づくりに取り組む。

(4) 地域とともにある学校づくり、地域、学校を誇れる子(芯)の育成のために

- ①子どもが地域に根付く取組・授業づくりの充実を図る。
- ②PTAと連携した取組を推進する。

(5) 安心・安全な教育環境及び職場環境づくりのために

- ①徹底した感染症対策に取り組む。
- ②教職員が子どもに向き合うための働き方改革を推進する。

◇ 重点研究

子どもの「やってみたい!」「なるほど」を大切に授業づくり